

福岡県中学校体育連盟主催剣道競技大会の開催にあたっての  
感染拡大予防ガイドライン

令和4年 9月

福岡県中学校体育連盟  
剣道専門委員会

1 剣道競技大会を開催するにあたって

「福岡県中学校体育連盟主催大会の開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」  
に則って大会を開催する。

2 剣道競技大会開催における感染予防策について

(1) 大会参加者（選手以外の生徒、保護者を含む）の留意事項

- ① 福岡市民体育館（以下、会場）に入場できる人数は、参加1チームにつき選手・監督・コーチを含め40名までとする。なお入場できる人数については、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更することがある。
- ② 選手は、「福岡県中学校体育連盟主催大会の開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」の「別紙3 同意書」を県中体連ホームページよりダウンロードし、保護者が必要事項を記入し、所属校の学校長に提出する。なお別紙3は、学校保管とする。
- ③ 各校の選手や引率者等は、大会前後1週間（計約2週間分）の健康観察を行い、「別紙1 体調記録表（学校保管用）」に健康観察の結果を記録するとともに学校保管する。
- ④ 引率責任者は、「別紙2 体調確認表（大会当日提出用）」に、選手の大会当日の体温および大会前1週間における各事項の有無について記入し、学校受付時に提出する。また、大会会場へ入場する応援者については、「別紙6 応援者等大会当日体調記録表」を記録の上、受付時に提出する。
- ⑤ 大会役員、競技役員、審判員は、「別紙3 来場者体調記録表」を記録の上、受付時に提出する。また生徒補助員の引率者は、生徒補助員について「別紙2 体調確認表（大会当日提出用）」を記録の上、受付時に提出する。
- ⑥ 入場の際は、検温を実施する。体温が、37.5度以上ある場合は、再度、検温を実施する。2回目の検温でも37.5度以上体温がある場合は、会場への入場はできない。

- ⑦ 会場では常にマスクを着用する。面をつける際にマスクをつけ替える場合は、面をつける直前にマスクを付け替え、使用していたマスクはビニール袋等に入れ、名札の中に入れる。面を外しマスクを付け替える際も同様とする。
- ⑧ 観客席では、密を避ける。また、通路等に荷物等を置かない。
- ⑨ 会場には、選手7名、監督1名、コーチ1名が8時00分から入場し、応援生徒、保護者等は8時30分から入場する。
- ⑩ 更衣室を利用する場合は、学校単位で利用し、責任者は更衣室の利用者が密にならないようにすること。

## (2) 大会および競技に係る留意事項

- ① 開会式は、出場全選手が参加して行う。式次第は、開会宣言、優勝トロフィー返還ならびにレプリカ贈呈、会長挨拶、審判長説示、競技上の注意、諸注意とする。
- ② 閉会式は、男女とも三位までに入賞した上位4校が参加して行う。式次第は、成績発表、表彰、閉会宣言とする。
- ③ 大会は、下記の日程で行う。ただし、状況によって変更する場合がある。

8時00分	開 館
	選手7名、監督1名、コーチ1名 入場
8時10分	学校受付
8時10分～9時00分	稽古
9時00分～	審判会議
9時30分～	監督会議
9時40分～	マナーチェック
9時45分～	開会式
10時00分～	競技開始

競技終了後、閉会式を行う。

- ④ 試合は、全日本剣道連盟「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」に則って行う。
- ⑤ 会場で稽古する場合、周囲の学校との間隔に注意し、密にならないようにする。
- ⑥ 選手は、必ず、面マスクおよび面シールドを装着する。
- ⑦ つばぜり合いでの発声は禁止する。
- ⑧ 代表者戦において、時間内に勝敗が決せず延長戦となった場合は次のとおりとする。

- ・延長戦は、2分刻みで行い、2回目の2分間終了後、給水時間をとる。
- ・休息給水時間は、双方が面を外してから2分間とする。
- ・選手は、審判主任の2分経過の合図で面をつけ、試合を再開する。
- ・以後、延長戦3回・休息給水時間2分を勝負が決するまで行う。

### (3) 運営に係る留意事項

- ① 文科省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき運営する。ただし、変異株の拡大など今後の感染状況に応じて、方針の大幅な変更もあり得る。
- ② 選手、役員、補助役員生徒、応援生徒、保護者等はマスクを着用し、マスクを外した状態での応援や会話は禁止する。
- ③ 出場選手は朝自宅で検温し、発熱の場合には様子をみる。体調がすぐれない場合はただちに帰宅させる。
- ④ 自宅からマスクを着用するとともに、自宅等で剣道着に着替えてから大会会場へ行く。
- ⑤ 会場内に手指消毒液を設置するとともに、2方向の出入口や窓を同時に開けるなど十分な換気を行う。
- ⑥ 試合前後の円陣や握手、ハイタッチ、ペアでのストレッチなどの身体接触を禁止する。また、ミーティングなどの密集、密接した環境を作らせない。大声は出さず、近距離での会話や発声が極力行われないようにする。
- ⑦ 選手の、個人で使用する剣道具（水筒やタオルも含め）は自分の分だけ触る。誰かがまとめて運ばない。荷物も他の人の荷物と触れたり、交ざったりしないようにさせる。
- ⑧ こまめな休憩をはさみ、給水用のボトルやコップ、タオルなどは共用しない。ドリンクはすべて自分で準備させる。
- ⑨ 昼食をとる場合にはなるべく短時間とし、黙食を呼びかける。また会場にある飲料用自動販売機付近では滞留させない。
- ⑩ 大会後に保健所などから利用者の情報を求められることも想定されるため、監督は参加した生徒や役員の情報（名前・連絡先など）を提供できるようにしておく。
- ⑪ 感染予防のため会場滞在時間をできる限り短くするように配慮する。
- ⑫ 大会終了後も会場入口周辺や玄関口等での密集が起こらないよう、速やかに分散、解散させる。